

○ ワークショップ「都市のOR」

開催責任者 数理情報学部 鈴木敦夫

2004年11月20日、21日

南山大学サテライトキャンパス

ワークショップは2日間にわたり、参加者39名、以下のプログラムで開催された。

11月20日(土)

13:00-13:10 開会の挨拶

伏見正則 (南山大学)

13:10-14:10 セッション1:道路・設計, 座長:田口東(中央大学)

時間地図を用いた道路整備効果に関する研究

住谷優友(筑波大学)

緑量の確保と交通安全に考慮した街路樹配置

音羽和弘(筑波大学)

ペDESTリアンデッキと駐車時間に着目した自転車利用圏

菊地穂高(筑波大学)

14:30-16:00 セッション2:輸送・交通, 座長:鈴木勉(筑波大学)

首都圏電車ネットワークにおける駅の乗降・通過・乗り換え客の属性について

田口東(中央大学)

鉄道駅利用者予測モデルの構築

福智一正(中央大学)

鉄道アクセスと住民のサッカー人気を考慮したスタジアムの理想の立地条件はどこか。

生野洋(明海大学)

ネットワーク空間における時空間通過量モデル

田中健一、栗田治(慶應義塾大学)

16:20-17:50 セッション3:施設配置モデル,座長:李明哲(福岡大学)

輸送コストを一般化したウェーバー問題

渡部大輔、鈴木勉(筑波大学)

夜間小児医療施設配置

松本立子(筑波大学)

高次ネットワークボロノイ分割について

太田正和、山路真弘、鈴木敦夫(南山大学)

Hub arc location problems in a competitive environment with flow threshold

佐々木美裕(南山大学) Mohan Krishnamoorthy,Andreas Ernst(CSIRO)

11月21日(日)

9:00-9:40 セッション4：都市データ，座長:出水田智子(会津大学)

位相情報を保持した高精度空間データの簡略化手法

鳥海重喜(中央大学)

新しいエリアカルトグラム作成手法

井上亮、清水英範(東京大学)

10:00-11:20 セッション5:政策，座長:三浦英俊(明海大学)

地域における男女比率と未婚率

清水奈緒(筑波大学)

景観づくりにおける合意形成プロセスの課題整理

出水田智子(会津大学)

小選挙区制における一票の重みの格差の限界

根本俊男、堀田敬介(文教大学)

11:20-11:30 閉会の挨拶

腰塚武志(筑波大学)

◇ワークショップの討論内容

ワークショップでは5つのセッションが設けられた。それぞれについて報告する。

1 道路・設計

道路整備効果，街路樹配置，自転車の普及方法について報告があり，それぞれその有効性，実現可能性について討論を行った。

2 輸送・交通

首都圏の電車利用者の属性調査，鉄道利用者予測，サッカースタジアムの立地，通過量の時空間モデルについて報告があった。いずれも実際のデータを用いた研究であ

り、主にその実用的な価値について討論を行った。

3 施設配置モデル

ウェーバー問題，診療所の配置モデル，高次ネットワークボロノイ図，ハブ空港のモデルについて発表があり，モデルの妥当性について討論を行った。

4 都市データ

位相情報，エリアカルトグラムについて発表があった。いずれも都市のデータを簡約化して利用しやすいものにする手法についてであり，実用性を議論した。

5 政策

地域の男女比率，景観にかんする合意形成について発表があり，男女比率の差が生じる原因，合意形成の難しさなどの討論があった。

◇研究成果発表

今年度は、研究発表は各自の責任において行なうこととなった。